

一般質問から

自民党県議団



明 樋口 (福岡市南区)

県の「那珂川
修景護岸整備
事業」は、福
岡市とどのよ

うに連携して進めるのか。また、
那珂川水上バスの有効活用につ
いて伺う。

A 清流公園上流部から須崎公
園下流部までを整備する同事業
は現在、最下流の約500メー
トル区間を、福岡市の「須崎公
園再整備事業」と調整を図りな
がら進めている。今後も同市と
緊密に連携し護岸を整備する。
また、水上交通は地域活性化に
大きく寄与するため、民間企業
等が参加する「那珂川水上交通
活性化推進協議会」で有効活用
について意見交換をしていく。



三 松尾 (春日市)

ICTを活用
した教育活動
を充実させる
べきである。

県教育委員会の取り組みにつ
いて伺う。

A 先端技術が生活に浸透し、
劇的に変化する社会を見据え、
これからの学校教育は、情報モ
ラルや情報セキュリティ、プロ
グラミング的思考を含む情報活
用能力の育成が求められる。県
教育委員会では、ICT活用によ
る「学びの個別最適化の実現」
や「確かな学力の育成のための
効果的活用」などを研究テーマ
として県内7地域を指定し、小
中学校における効果的な教育モ

※ここに掲げている質問は、一般質問の一部を
抜粋したもので、6月定例会時点での内容です。



耕一 川端 (北九州市門司区)

ワンヘルスの
普及啓発へ、
北九州市の
「環境首都検
定」のような検定を実施すべき
ではないか。

A 検定制度は県民が楽しく学
び、理解を深める機会を増やし、
特に「環境首都検定」は若い世
代への教育的観点からも意義深
い。一方で、「ワンヘルス検定」
を導入するには、環境問題のよ
うに多くの人に認知されること
が必要。また、合格者はどう活
躍してもらうか、受検料徴収を
どうするかなどの検討課題もあ
る。まずは、ワンヘルスの認知
率向上に努める。検定導入は今
後、検討していく。



悠 吉村 (北九州市小倉南区)

「福岡県だ
よ」を若年層
に訴求させる
ため、どう見
直すのか。

A 若者も興味を持って見る紙
面にするため、県庁各部の若手
職員や自治体広報に精通したア
ドバイザーで構成する広報改善
会議を立ち上げ、柔軟な発想を
反映させたい。県公式YouTube
ubeチャンネルを活用し、本
県出身人気タレントが福岡県だ
よりの内容を面白く紹介する動
画を配信する。福岡県だよりを
スマートフォンで閲覧できるよ
うにし、県公式LINEで配信
する。現在、準備を進めており、
7月から順次実施予定である。



三夫 浦 (糸島市)

ひきこもり支
援に関して民
間支援団体と
の連携につ
いて伺う。

A 就労支援や居場所の提供、
カウンセリングなどを実施する
民間支援団体との連携は重要で
ある。県では、38の団体を把握
しており、所在地や活動内容を
まとめた「福岡県ひきこもり支
援社会資源情報」を作成し、関
係者間で共有している。県の支
援センターやサテライトオフィ
スで、これらの団体の支援も紹
介している。今後は、県主催「ひ
きこもり支援者研修会」を活用
し、支援事例の共有や意見交換
などを行い、連携を進める。



将 渡辺 (那珂川市)

運動部活動改
革に取り組む
教育長の決意
を伺う。

A 少子化の進行で、地域によ
っては学校単位のみでの運動部
活動が困難になることや、生徒
の多様なニーズに合った活動機
会の充実が求められることか
ら、運動部活動改革を実現させ、
子どもたちの新たなスポーツ環
境を創り出す必要がある。学校
教育として実施してきた運動部
活動の実績を踏まえ、県スポー
ツ局とともに市町村教育委員会
や関係団体と協議を重ね、地域
移行後も教育的意義を持ったス
ポーツ活動が実施されるよう取
り組む。



祥一 江頭 (嘉麻市)

幼稚園や保育
園の園長に、
新型コロナウイルス
イルス感染症

に関連したマスク着用の判断を
求めるのは非常に難しいと考え
る。未就学児の着用に関するマ
ニュアルを作成できないか。

A 国が今回示したマスク着用
の考え方は、オミクロン株の特
性や熱中症のリスク等に係る科
学的な根拠に基づく専門家の提
言を踏まえたものである。今後、
この考え方に對する理解が進む
よう国の通知やQ&Aから、未
就学児に関わる部分を抽出して
分かりやすく取りまとめ、改め
て幼稚園や保育園に提供してい
きたい。



和彦 笠 (福岡市中央区)

新県立美術館
における福岡
県ゆかりの芸
術家の紹介に
ついて。

A 本県ゆかりの芸術家には、
坂本繁二郎など美術史に名を残
した方々のほか、人間国宝であ
る小石原焼の福島善三さんやサ
グラダファミリア聖堂の彫刻家
として有名な外尾悦郎さんな
ど、今も国内外で活躍されてい
る方々が多くいる。「新福岡県
立美術館基本計画」に基づき、
本県ゆかりの芸術家や作品の魅
力が広く伝わるよう、作品や資
料などを体系的に整理して紹介
し、より深く理解しながら鑑賞
できる工夫を凝らした展示を行
いたい。



義彦 高橋 (飯塚市・嘉穂郡)

コロナ禍、加
速する円安や
原油高騰等の
影響は大き
く、県民の消費購買力の底上げ
のため、賃金の引き上げは不可
欠である。こうした流れに、県

内の中小企業・小規模事業者が
ついていけるよう国とも連携
し、県内企業の「業務改善助成
金」の活用促進を図るべきでは
ないか。

A 県内企業がこの助成金を最
大限活用できるように、無料の個
別相談会を実施し、県のホーム
ページやメールマガジン等での
情報発信で周知を行っている。
今後も県内企業における業務改
善助成金の活用促進を図ってい
く。



尚彦 花田 (宮若市・鞍手郡)

県営都市公園
の利用促進と
インクルーシ
ブ遊具の整備
に関して伺う。

A 県営筑後広域公園では、人
工芝の球技場整備などで新たな
利用者を生み出した。天神中央
公園や大濠公園では、Park
-PFI制度の活用で飲食施設
を導入しにぎわいを創出してお
り、西公園でも民間活力導入を
積極的に検討する。インクルー
シブ遊具整備は、障がいのある
子どもたちが外で安心して楽し
む機会を増やすことから、先進
事例を情報収集し、保護者など
から意見を聞き、県営都市公園
への導入について検討する。



勝司 香原 (直方市)

電力などの価
格高騰に伴
い、厳しい経
営環境にある
中小企業に対する県の対応を問
う。

A 低利の県制度融資による資
金繰り支援のほか、省エネ診断
で効果が期待できる設備や機器
の導入等への支援も行う。経営

民主県政県議団



岩海 原竹 (筑紫野市)

農業競争力強
化支援法には
「都道府県が
有する種苗の
生産に関する知見の民間事業者
への提供を促進すること」とあ
る。県はどんな相手にどんな理
由で提供したか。

A 本県では、試験研究を目的
とする場合、県が育成した品種
の種子や種苗を、国や都道府県
に加え、大学や民間企業にも提
供している。具体的には、国や
他県が水稲や麦などの新品種を
開発する場合や、大学や企業が
DNAによる品種識別といった
試験研究を行う場合に、本県が
育成した水稲やイチゴなどの種
苗等を提供している。



美穂 渡辺 (太宰府市)

保育士の労働
環境を改善す
るには、1人
が見る子ども
の数を減らすことが一番有効で
ある。そのためには、県が、国
の法令改正を促して配置基準を
改善していく必要があると考え
るが、知事の見解を伺う。